

目標達成計画

作成日：平成26年12月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48 49 55	室内余暇の実施が不十分	利用者が過ごしやすく、興味をひく環境作り	①整頓しやすい環境を作る ②利用者個々が興味を持てる余暇物品を確保し、利用者の目にとまり、また手に取りやすい収納の仕方を工夫する ③季節の変化を感じやすい掲示物	12ヶ月
2	34	臨機応変な対応ができていないため、意識の向上や定期的な訓練が必要	冷静な判断と適切な対応ができるよう、対応方法や実践力の強化を図る	①職員の不安に思っている事を、アンケートをとり把握する ②職員の意識向上のため、教育訓練の実施 ③様々な場面をを想定したロールプレイ	12ヶ月
3	43 44	できる限り、トイレでの排泄を目指すとともに、便秘の及ぼす原因を職員が理解し、スムーズに排泄出来るように支援したい	排泄パターンに沿ったケアを行い、トイレに座る習慣を確立する事でトイレで排泄ができるようになる	①排泄チェック表をもとに、個々の排泄パターンを把握する ②アセスメント・モニタリングを繰り返し、その方に合った排泄支援方法の確立 ③排泄・排便のメカリズム、重要性を学ぶ学習会の開催	12ヶ月
4	3 4	運営推進会議への家族の参加率が低い	運営推進会議への家族参加率向上	①他施設の、運営推進会議を見学する ②家族にアンケート実施(開催時間) ③分かりやすく興味を持てるよう報告内容の工夫をする ④参加しやすいようイベントと一緒に開催する	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。